續々ひざくり毛二編

下

へ13
1164
52

へ13
1164
52

續々膝栗毛二編下

十返舍一九著

そも酒悖親父の五右助。いくぢもあく。ひとろくと
[illegible]かけ。弥次ゑ湯うとのかどぐちうろ。まあ
[illegible]ぞ[illegible]のむく。ぞれもねあいう。おう〻変けいろうの
小遣どのハアト　とのどきうまぶ。ちゃ
[illegible]ハ二ういとをりて
いうちゃ親ごの。おやさぐ弥次ゑ湯うろ。おう娘とあと

ごまふ断つて。わぜろくさのごん。ソレきろごしゃアハア
おろうれとどぶごうまとう。それあやう候と呼ーグ
ありやまと（イヤハイそう）ーぐあろうごぐ。あたぐたのうごぐゃ。
なのやうな余所へやうまと。約束ーことぐあるおうひと
ごろくいうごとぐ。ひふうんごきごぐ。かーいるる遠
て。隣の内へそいつて。今まで踊ゆいてゆる。サアたれて
いうごと。おろう娘と。そやくひとごろう出せく（ヤアあぐた
あせへ。そんあろう今まごおとあうで。ヤアトコセ　ヤウヤウヤセ　踊つく

わかさろ。おまへ（ヨイ）そのヤアトコセハあらごぐごろし
こい。だあぐわろーいろてゆるごと。サアそのヤアトコセ　ヤ
あせ（ナニヨサウ）れ西ふ。ヤアトコセとふあハごごろ
ごせ（ナニヨ）ん。ヤアトコセとぐあろうごぐ。さくのろかあのとん
ごいゃア。ナニヨくいきあいと。おろう家捜ーてひとごろう出
さごと。てまあと。二階でのうごビト一ぐくえんに二ろくぐけそもんん
ごまろうのこいーぐ。ろうそうこいーモシ　ぐ子ぐ人ろう。お祖父さんの踊ぐ
子をごぐくきこう　とまるとき。こ八ごろてゆるまと。
おりーろ。ぐ。ぐん。で来て。ろとあごろうせてとぐあかこ。ぐを

きいてゆるしくれなうもせぬト いうこと
なさげそきこう

一よその疱瘡神さまハ酒呑と嫌ゆと
いひまをぶがきこゝ　れ西のハ祝ろう構ひませぬろう。
なのおくてあげようとおもりて持て来りまし。
サア　わかさぴろなのぐろてひさりませト　ごとのくハ色さ。
おそくまるつりのおそうふりろくくるとこのまま　ひ
おやぢはときのてハ目のあいはそそ　これば　ごちまちゆこう
ごヤア　せろうくお隣のおあろぎ。ひとろあがりま
せトちくくと出てゆきぶ大　ユリやハイちんざうひとりの酒ごま
きる目とわそくし

ませぶヤアトそのこうのはまを安ぬの上でくこうひもあくきぶんのあなこ
かけ出てさるあをろくまり。　ユリやハイかいふは道化ざヤアひと
もやぢのきぶんとるあぞ
ついできませろう　イニナおろまきかさ祝てゆうごろい
そんあう。おおいさんが酒とあがる肉。おいろがおどりや
せこう。サアお隣れおろさん。を敷とおさのこ中やとこのの
ろの山ろうユリヤサ谷底又人ぶ　ヨイサトおどろけると。おやぢ
おまんかいやヤと布晒とヤアトユセ　あまやくと又人は
さ。コノあんでもせ一ヤ面白いく。ユリやいろちいあハと

てゐる。あらひきーく遠なのか。嘸でくまさつきの。
あるハイ。ひとざろているあのかゃア（おうりやあのようろ
ろうか。おりて来きろせ（トいのこ表ふおうり二のようおりて。
きあやこのさこめん。めこもいろぎヨろとあ　文を助ふくれと又合せ。さこくひ
出せば。さまこがにあやぢも。目とこをとりあぐろ
いきあろさゃア。コヨエ（エレーく久ーぶりで
ぐ國と出さ法で。おろハイ。いろく
あとあーいめにあろて。今ハあんかゑふかつてある
ぐ。仕合かやろハ。ソレヨエもあろてねぢ。藪下れ者ヨ
くちやぢんだあめ。のいろぐどりしてろ。あの皺と延ー
祖母

あろて。新田の庄屋ぢめ。かろうあふあろさぢ六十七
十ふなろて孕あろて。そヨエろ毎年孫を産ぢ。嘸
いやりよ。いまぢこに変れひとろうをやろさ臼ハ。朝ろ
ま人ふつのく去生ひあるといろんぢゃア。まのご我と可
愛ろろと。腕村のおんぢハ。雷ふつまれていろさけ
ひさーく雷れろりたあろてとろさいふおんで。痔
拍ふあろく場ろて去ふある。そふしてハイ。コヨエ家遠
であろさ。其隣ふ。賀ろりのぐあやろくぐさ。娘ハ。

なのつさぼらア。そいつハ幽霊搗の蔓翁多くさぼく。
道豚寺れ長老さあハ。山ホかくうて。其山の芋が鱈ふ
あつて。いまハねうつ里くうつ里と。穴だいりしてざいざう
ちやる。ちつとのまた。ぞざ伝ふくろうさうんざャア。もわだち
うんれ伝嫁姫があとうていく。こ里くうちよくくい生
かさうゆ一ゆとぞとも。おくう汐さえのませてくまる
と。なのもいうあいャア一汐いくくうでもあげ生と一エくく
うるーいうんざいおくう生ちつどんハちろあい。そんざいた

なのことをぶちまけていハざいもくう國ふいるくまこ
ちあつどんへ娘とくまぞと約束ーさあで。なのれがけん
ふげて去まつさりんざんて。ハイそ里ぞうたあつこさ
が。今度生ちつどんがおくうでわ里をあつけさうんざで。
つ里ぞ約束ちやと女ひとぞうて来て女房ふせびと。
おくうに酒と飲せざあくうかーて。娘とゆくぞとういふ
伝文と。きんのかくせさがャア。その伝文ふおくう國ふ
ねさ時分れ。年号月日であけ里ャアけかいと。十三年

かりの戸を
横ゝ
ゆさぶって
もののふくろ
まてども
うゝみて
あるく
浮しさ

愚舎
一得

だしあとのせのりふかくせさハ。アリヤハイ。とろくふけ一れぐろ
てあると。理屈いふ氣とヨんくるる。コレをのをとろうもある
か。室ちろうどんハ。ちうんがうけ柿の接ぢ。おゝ見さくでも
あいゃ。なのんまうちやべうて臭がきれる。ヲヲいろたのゆ
ぎどいゃア。りゝ。おまくぞんあんに酒をあがうとゆうてせよ
ふ。りふよれ加減ふなまうませぬ。トいふとふちまちおぎうちち
ナニハイ。さけとよせとぬうとう。けめろうあうぬそん分に
いうと。ひまぎろう出りゝ。というぎろヤア。コレうく。あづふく

やアざく。おまんちまあ。サアろせおまと出ハト。ちまちまくとうとく
ちまりの。さけけさのくべコリヤサ酒屋のさのじ。ヨイサアハリサア
トあぎり出ハ。ちぢ。のむけのくどハのこまくけのじ。ヤナトユセヨウイトナ
ちまうれぎて。
ぢまくエハイナ。とろあんでもせ。ハハハ。あらハイ。おいとあふ
せぎどいゃア。りのふまうあうあさうやたう。コリヤハイ。ぢぞうこ
あうこいゃアトコセトやどうあらめうりとやろく出ちやうと。あとス
ヨウイトナ。大まらひとあうくるゆにも。おうりハさまうス。ちやの
ちまぐこれと。ぐらいぐれうく。ちまぐこれ。ちまぐこ。ちまの
ちうく出てゆくと。きさハちとうりかぎりかぎう
たとへあを酒ちを穂乃玉第

掃きぞめ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

夜がふけふ。むろうとともあるきゃア。あんと寸伯老。
泳法らごのとおらごもとゝ。どちのろうぐ男ぶりが
よゝうゝごいヤア。されバ。ママアたあ人とも眼もふさつあり。
鳥もありくちもいるゝ。人間ふね遠ハごぎりませ
ぬが。無猴あがゝあゝ。碁石とおりたけさゆうふひ
くゝいお鳥で目ハ薮白眼あり。まこ泳ごの。ハ目が三
角でたか。未申のゝくまろく。反歯ふ鼠ハむゝや
くちや。ふさりかがゝ。男ぶりハ五角でごぎりませう

ゝくきさとゝハどゝあざ。ゆきさ。必竟かゝさあごゝら
ふゝまるきづゝハあり。ゆゝたあ人ぶ。おふさゝとも女郎買
ごゝと。りてるお顔ちゃアごさりゝやせね。きさハそゝゝ
か。そのかゝりもいゝあゝをがいるハイヤ強ゝとたゝけ
てハ。ゝゝごゝあが張ゝ。ゝゝごゝやアそきでた双方へ。
たゝお後いゝゝ。乗ゝとゝゝ。ちさひふ書ゝあめでな
くてハ。後日ハ使ふ。ゝゝあゝねとあゝて。取かハせ
一礼の法ゝり。業紙をゝさゝめてあきまゝゝ。寸白ゝの

[illegible]

いやア

[illegible]

一人う度対談[illegible]上申月代と女房[illegible]

[illegible]

一[illegible]外法入用双方割合[illegible]

[illegible]

[illegible]

立合相改面体似寄いろいろ種々[illegible]

[illegible]

但双方[illegible]入割合[illegible]

一[illegible]

金七両[illegible]入[illegible]

右[illegible]

[illegible]

[illegible]

一コリヤハイ寸伯老ハがいふ文蔵ざヤア。あの者殿くも此
若労うけ申とふふとこが肝ぶざ。あんでもひとう
で清て。おゝふ若労うけ為と。おら他人ふせ
まるもうざんで。そまゝどやア為たいぶざ。ア為
とれでき為つことふふめさまくくばいよく。上十五貫ハ
おゝがわせくるが十五貫ハ。きき為がなぜくるもある量。
遠慮ハ為ふそん為ア組日と十六貫。女房大時
さ為の法遠慮ざ彩一そんさ。さ為ふ為ふ彩せ。

益のあるふ一イヤ法里ふあざうかさ。七あ或分ざ
せとふふざらうう。いやそのく苦ともかくも。えん分
めざふとふふふ。わおうう。いろたい出さうせ分ト
代内為ア。りんのこうふ世もきんでもまひ苦
絡ゝさ。ア代ほとおき毛のこうけ分ざ。サアく苦こう和徒
こうく。おうりざのそも嘩で来分せ分。どえのさ
のざえ一イヤむふれ内ふおうやせう。きさハちよつと
よんできそくん分トふうち。水泉のうちくわ一アイ山の神
さ為ハどえふうさう。今向ふ十ざあえのいあにも

さろきおうりさんが。ヨヒハ余法くやきまんだが。蕃分
ハかくうませねうが。お粗そやきまとくうて。ゆぜ
うろそまおくくとて。出てやきかさろさるまるこが。
どこくいろさこのざゆう。法法きんちら法くのかく。
そ至こハ法まう法くどこくかくあろさやう十二なくある
ちどハあい法法どの。どこどくく金言ハせねうて
裸ふあうくくまあとるいて又かさいか三益
日中懐へ這入こくねるいあく。ヤやうことうのう。ろう

里さんの喰と飯抜とあせとおくとぼうくとくることが
奇妙ど猫ドやアなるきい。コリヤハイ異かまんざい。
あくくとうて見ぶいやアトこの里ふん。ふくあうふ。ふくあ
ふくちうちうきん木を出ノ茶をそ。ハアふ
ふきたまりて逆蒐ふあろて。今来の時。コリヤ昊あく
ふくどとあるヤア。書ふいいく。乾坤ろろの間をねば。
離の卦ふなろて中絶ろう。筒ふ音あくてあう来
ふとあ。さくく玉ちきさ売鉄炮とのるヤア。あうなど
ハイ。肝心れ玉ちあくあうて。法法くどろのもうぶれ

も。爺のあいさつ。うーんどうやうと放せとん。エヒヤイ。あんまり
胴欲な女。情あいやうぎやァあへう。のん弥次らごの
ゆうさ。どへーとのごやう。ぬく気ろ但ハ乃ろ。ぬ
皆れやうあめハあるう。きこハ押入の葛籠と。見て
くれ。ヒ。ヒ。ヒ

まぐさをいうヤア。弥次どの。泣のとちるときこう
きこい。今ハ同志ふあうざとヤア。弥次「その内ちとろこと。
ヨこうハ水ハいつてめつりやせうそふざろうく。
弥次さんようう。その水ハ水れ出る所ぞ。大方落しで
なのらうう。おいつハ涙とこれふいうぎハあるめく
ちくうバ讀本のまとぞ。なのくまさくしるふこう夫
と持ひろ。本意ハにもあく。其上こ見事ぞ。ごんぐ
の不仕合ハ。飽果りくまく。尼法師ともさるあ紙
うえ。後世と祈ごひさくなりく。猿松事ハ。外ハ葉ひ
人間ざてゆる。それハ法ハ〜らく。まさく折を
見合せ。ハ先りくゆそ。世ハくハ乳ヤ上まハ〜せ
ひ〜きそハ。ふこう男とのとろのとい。やごう〜のまと
ざか。とまでハ撞蝶よくしそねこのとハ〜さる
護士の灰ごつハこうめざう〜。あんか番狂せぐ出
来このざ。いろくまくハ〜ハトおろこうかちりめん
おく〜法ざとおりこうぐ。肝ろ煮るヤア。弥次どの。今ご

まの灰がつくこと。コリヤあるにのとはけこのどむ
ぢ。足こくでもあい。あるぶ武士ごんで。ドをかさと
いうときろあいヤナニぶーもてそうど山伏がわ
きこまれ。イヤあるら今。法花でくあいヤ。きとあくく
コリヤハイ。きさあがおらうと。どこことぞく隠ーて。あらと
だあくるかさどこ。こきくるぞあか。そもう疝気で。金玉
がどるいんごんで。花を移ることができあへハ残念
ごャア。そのどあいとたくこがあるふ。寸伯どの。お身も

きこくあい。あるがぶくくあるあと。伴人ハもくくそく
か。ヒ物主め。平業がこきこうるヤアトもんぞくくかうがるる
ぞくくとそそそ移ちうると。
結うかきこはけ申うとまれバ。金玉もんかうこと
つくくと。きさハこうきへ申うくくひきこはけると
ヒヤきあ玉へ
ど。おうう金玉とかくくあるかくくヤアあるくさあれハ大き
かきんくこまぞナニあくくたるあのうイヤきんくあおヤア
たうくさ。その金玉のうたこ。ふうついてあるあがか
くあくさ。コリヤどこくあくさ。出せくくトうきこうこのとき
のきーのくくうり。あたやうるどくあくうるうるくくく

さんね浦へ。ぞくぞくと。
くいろいろと。そのうえいろいろかあんばと。
あひ。うのいろいろうせーあ。まるざけ。
ぞくぞくきんこ家のうえに。ぶらつかとぬるめが。かくあつさ
とうのあさうとと。あまざろう。ソリやいろいろもの。とれろく
トかのまるざけとろこ。いろいろもくくうもくあうとむと。ひまつざけ。
とろうとのごとく。まりとあるく。おまとあるる。ぞうれば。そそ。ぞうれば。
ゆうにあるり。ゆーとる。むくくに。あんとあるる。あれば。
いろいろもくくとろげまるりとく。むくくあんとところあ。とあくあるもあーく。
あり。さらのあるて。ぞうあんもあるさらの。
とれば。ぞうあるて。ぞうあるた。
ゆつが。あいとあるつさらあ。
あるや。ろきたつ。ぞつく。

邪ヶ戸ふあつさとと。ナニハイ帯へあつぞさんで。ぞいと。れと
のぞこやア。ぞぞぞト。氏内又ちあもぞ。ぞいの家えとあと。ぞ
ぞあんのあひふまり。あどろ。ぞぞまる。ヨウイ井
あのあるぞぞュ。イサ。ぞいのあんでもせ。ぞぞ。且那へもひひでやア
ひひ。ゆうぞうぞ。ぞめが。どどでろぞぞひあつどう
せあろど。ぞぞぞでもあいやア。ナニアとぞぞでもあいど。
あんのえんざい。あら酒のんざざざい。ヤ。
ヤア。ぞづうた。ぞあせ。あ。イニ。あるやざぞく。そのあ。
でもあい。ぞと。サアぞきろざど。ぞぞトいのあざう。目のとろうとと。
ろろぞくとと。そのあろとと。

ぶきとくくと

「ヤ」ヤヤヤ

なの。耳は穴一雫く水とまることと。孫ごろりとまる
とゆうことござ。ドレ〳〵もくハさあ〳〵ごゝトちやさんれあと
ゆびをぞうこと。耳のあなをあとせば。ウシトのひと。孫
ごろりさめ。火まくにそりおそ〳〵。どうぐ〳〵ぐやうぎたこうり
しと。えをあハろ。ユリヤきこハガとんごことゝ。あハう
こうにおうごと

ハちう。ヲよ。ナニまう。兼和ごんと。あハとまく。コリヤ
ひさ。ヤイくトけんくとびおこされと。
ヤイくトまう目とまうく
ハ左助。まうるまきあいう。
ハアクツ。こうやイ。まう風とひのさヤ。ハアシヤシくトあ
えてきも。ヤアくまう。ハのうあがちごろさヤ。坊主あやか
とゞ

ハ。ユリヤまうこ。ヲよ。おこうんごだこうとうちごくこと
のごのうごこ。そこもやこ寸伯さん。クイヤまくハけあこあハ
そあにあるか。ちきこくこ。今うのさきこちち坊主ごきこ
ろうけごまかこそのうやごまくハけあこあとろ久
ていうこも。ちまこもせぬ。エこもの坊主ごろちくハのうこ
ヤア。ヤア今うごと。出てゆきこ中こたゆく。遅うけかせ
すぐ。それくこくこでも。豆郎ごのうこあでおろもと着て
ゆくゆハうごそまごうう。おきこふこれよう。ヲそのこ

坊主やろうめ。道さぎとのんうやアト　ひとつつきあがらうが色
大きくのと　やりて。重ねりんいとあごぶ　てゆく。おくとこかく
ゆくゆく。道さとさぶ。おうりれそと。あげ　ぶれ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ

罪科の毛もあきこやうぬ元のさま

けづりまくはせどとちくぬ生ろひ

ちうのうさ。おいくあやのめきてけ。おくのあぶ　きまう。そのとり
のらうけやのあぶうあくま。うちつまそぶけとまうり

一ときふ法次さん。そんごとごの。かとさあぶうあ
とそふぶ。さやうさ。いつのまにとあくぷあけん
ちまひやうと。そして葬礼いろ。ぶを。イヤまぶ

ちめいし稼くそふさ。そんあういろ。死ふさるのぶね
一されぶ。ぶぶ。すぶうやせね。まあ。ちまはまうぷそれ
ちやア。あれ。ぶ。ぶとうと。ぶ。ぶ。ぶ

あのとおもとあが小言といふと。親父が腹とさてゝあん
ごひのきつちよあ。ゆるゝ〜ア藥鑛とかがまこしろ
にしらアイとりて。湯れ煮くうゝそうてゐるやくゝん
さとろて其侭かがつさめざこう。顔だうやけど狀
して。眼ハひつ法るくちハまだる。色ハ黑ー。ふてゝとも
見こゝまを極へ顔小あつさが。そのくう。風俗ハ腰がふと
くて足が短くて。尾のもさが。あとを二十貫目もあ
らうといふ男と。引きつてあく。そのざあハえと

もあいが。たつさひとつとうゝあハ。撮性がゴロゴロくて。ぶ
紅のめで。我侭で。縫針をるが嫁ひごこう。深いあ
が。一生懸ば せく。喰してくるゝ。ゆうくらと。ゝくハ
とふくう教えてゐるが。其おもとあも。ゝやあとゝ四十五
ふあるまで。お應が所もあいハ。いろにしても緣遠い
むとふ。とてけうちゝ世話をさがわ侯まる気ハあいらざ
ごろう。イヤそまでハ緣遠いとざ。そんあのハ話
ざね。モシそんあゝ外ふいのがありやと。あんでも

大人金持の妾れ子で。器量もよう〳〵支度も十分
のうえ。百両ゝ二百あハ。持参もいのとゆふまで。さき
ハあんでも様子ね。役者乃あい丙が屋ことゆふまでこ
ゝゝ。話沢さんそれと共ひあさきバてゝどのたそい
いハのゝひとゝのさきハどこで孫〳〵されバ。さゝくどこで
やゝ。きのふゝゝが妙見さまへゆくとちく。さきゝく
ゝゝゝく三三人ぢゝで。そのさきゝとゝちゆさ
ゝりやおゝゝのちゝゝねる人。どこのひとが〳〵ナニ法いで
ちゝ孫人さ〳〵そゝゝ往来の人ハさゝ〳〵ゝ
孫人。それゝゝ。武新道の撥校さんのもとゝのが。
男ぶりまよゝ金ゝのの里。何のひとゝ表足ハ孫人の
ゝ〳〵ゝゝめゝゝでなくて眼がふゝちゝんく
めゝそねるあざゝ。親ハおとが後ゝ孫ぐまぶ
ついそねゝまるとゝのゝどざゝ。あゝと共ゝゝハどの
ざゝ〳〵ゝゝとゝゝひあきる。世間の女房ハゝか
女ざゝと男と共ゝて何にきるあゝ〳〵ゝその

いひあさるゞ芝居ぬけ女房ホ菓子屋があるハ。あるまい
男ドもア稼くゝ。隠ヤ狂言ざかゝのことさ。あるまい
茶番狂言ゞ出きゞらう。ぬらそのるゞ。わハさんよ
女かぼゝときせる。おゝこさんれゝりにあるさんバ
いゝとゝのせわんとゝの女房とゝまゝむゞゝいゝら。
そんゝことゞもゝ。嘘の女ゞうゞよゝゝゝイヤあゝ
ゝこパゞまゝとちゝつゝかるゞやゝかさゝゞあんまゝ稼さ
男でも稼ハよゝヤまゝこひらゝわどのゝとゝこゝゝ

ゝきこのて。おきゝるゝゝゝト内スを助おゞゞ。ゞゝゞきゝ。あさのゝろゝもときそきさゝ
どのゝちゝゝゝまゝこきゝこヤアトゝゞゝゝゝものゝこゞとゝわゝたゝあゝく。ゝきゝゝ
ゝゝゝゝゝゝヤ孫勝ゝゝ出家ふゝゝてゝおゝでなゝまゝさ
ゝイゝゝゝゝゝゝ

くりく坊主ふあつく。鼠色ハ着物ときて。そこふ
ねさんぐんで。ふら提清まいんぷそ丑と入ると
がいる駕くあつて。コリヤぐずてさんぐときいてう娘
のいたハ亭主とふてうのうのやさで。坊主ハ
ぐ。殘家ハ弥ぐぐこふ社更言傳ぐ
ぐ。きいてくまきつきいてう娘ふるふぜうく
こふこのあうふ高亭主とふてぐうまーいと
思うさふ。変ふんとふ邪広くさふ人ぐできく。

こまこも義理ぐかるかぐやぐぐこふいれあふのん
ぐんて。半月がくうとぐきあさふハきやこぐ。ナニあの
大金玉と弱ることう。やァぐふあふ。それぐ旦
坊主ふハあつさたまこぐ。どふーて弥ふうどのぐきさ
ますと添こふとのかまとぐナニトきさあふ。いぐ世と捨こ
といふ顔ぐ。坊主ふあつくくまると。変ふんどのぐ。
きさあへ類ハもかふぐ。まこもこわれこともぐうづ
ふあつてハせこふあぐ思ハきるぐあ。ぐそこぐ

時もとぎてつ。きさあとのとうふあるごと。
娘の頭ひご髪とそをとハ。造作もあると。其うち
ゆもきさあれ心ゞ碧〳〵ざとゝと。娘ゞ業ゞで。コレ氏。
もとのゞきゝゝ髪とゝこ〳〵。ゆまとときさあの切
髪をいつちゝゝ埋ておくと。縁ゞきれあるとゝとん
で。ゝゝ彫んでゝきつゝこゝゝ。どゝぞとあるも場主
ゝゝつて。その髪とゝゝにくまさゝちゝゝ。ゆまとれ
髪の毛といつちゝゝ埋てゝゝゝこゝゝざる。コレゝゝ

もゝ人ゝ半心の生酔おやゝあるゝ。ゆまとゝゝ実ゝんで。あるゝゝゝ
きゝあ。きさあゝゝゝゝとあんあゝ。ゝゝゝゝゝゝとゝ
ゝ多ゝゝ。まゞゝゝその寺ゝ味噌搗ゝゝゝゝゝゝ。
ゝ吞例でゝあんでゝあゝゝゝ。どゝゝゝハイ。娘ゞ屋ゝ通ゝ
ゝゝゝ二ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。始終ハゝんゝゝゝゝ教
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
さん。ゝゝさあゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ふおりゝあとゞいさま坊主ふあつてもらぐ。なのほろ
おうりふ遠いゝあさう。どこにおやさ。ハイ。まつきさ
ぢを。きさあ。さぢがゝきさあ。刺くかゝあはせどヤア。そう
あゝいろそれことそろうろ。そう。分せゝ。あいらがそろて
やろうトこのこかそうとろてきそうきくなる。ぢもそんさに多。
ついふくゝぐうどにそろてきまろと。ふたやがろぢ。そあ
どさそ。ヲ。あいく。そ。でむとあぢ結ーぐうさヤア。
あゝいひ信拇ざ。おろし大屋さんへ。ーも右孫ぢ。
いゝ孫ーナニ今おきふたやのどうう。様うとゝ孫ゝ

ぢうもきさ重ぢん。チトゆるさんろまあい。孫。ぢうどのどざうう
のとあ。あそゝくちうう。チトゆるさんろまあい。孫。ぢうどのどざうう
ヤチトゝくる重ぢりん。ぢうどあ。ふ比布ときそきるふ。ふそ。ふ。ぢ
ハ。重ちろつとふそ。ぢりゝたうう。ろうそ。かうとうかぐこるふ。重ちろ
も孫ぢうのとざ。かうう。ふとふそ。ぢろ。ろうとろ。ぢうもまさ。重
ぢりんのぢうざとあ。とふそ。うぢそ。ぢうきまさろ。ぢいふて。まくうあと
ぢあうく。ゝ。ぢ。ぢ。ぢ

ゆうとのさまでごさうそうとが。ちめんさまハお待ゝ申分
で。あを法師ハあさうゆ〳〵あらう急ふ呼と駆つとの
まんごぐ。ずづハイ。きさまのまつさ沢ぐさくこゝさア〳〵イさく
わやこのらうさきえ。うけさまうう〳〵ごぐうゆ〳〵ゆハイ。
ごふまさあいこんごふ。ずさそハふた助坊主め。おれこぐま
くうかーこでわうぐゃア。法ふうごの。りのぶちまけてゆ
ど。ゆがうぐめがあらふのゆたハ。娘ハ言伝でおぐる。女のま
でいちぐきふ亭主とふこうりのぐ。ぐらいぐんごうい

りんざんで尼ゆハかうゆ。ゆうさぐ。心の弱るハおまえさま
法師らごゆハいやでどぐる。幼馴染ハおまえさまふ。始終ハ
涙ふおぐるうら。法師らどのに思ひきゝ入さうりまつ
ハ尼ふありまーこう。わやさえまあの人の数ひなくらゆ
ゆう。ふぐどなのあさも一旦よをとてさ姿ふあつてたさう
きませ。そふーさうくで時ゑとてうう。わかこといろちよに
あうこのと。ゆううが云伝ーとよゆーこのふりんぐん
で。おらもさるまい奉公をあゆ。國へいこと思つこ

ぬ。きんざうのまこうをけさとりやうぎとふたつて
ゆうぎとと。コリヤイ。あつさう男ざうと。あんかあさま
ふ〜ことと。きさまに又せぢとおつて来て又直バ。
きさまもやうぎとあさま。ソリヤどうさまんこふやア
服ヤアメ。おう里がおいられ丈も。てうど其いとまう
いつてとうこと。こんあふ坊こふしやアうこと。コリヤ
又ちがどの。きさまの娘を女房ふと直バ道ぢ
おうあつせ又ちやア。あんでも稼人ぢ〜そろぐく、

おつぐ髪まで。その男と長まこもつて。コリヤイ。あつちへまあ
もんかあつとねして。あせおつぐと坊主ふしさヤア
とふせうろうとも。きつうろに。ふそ。ふたりとも。
人と見バ。完ふろぐヤア一十二両ふろさアあんのるぢ。コリ
あかあそろは里ヤア。ひさくさハ稼人ぐ。わちくぐ二
人で。あかハひろさうれるぢ。ふ丈ぐ〜ふ丈完ぐろぐふ
あつても様ね。サアあかとまあくはまこと。ふ直ぐあぐ
ハ。おらぐあわとあと。ものこと。毛をちやつて。

せく〳〵さんざ〻ゝ。ゆ〜せれやまらさきえ。けとそ色
てうくさう者ぺ。こんぢうあ〜ぐ生醉ゆ者つく。祖てゆ
面と。おうてこ者ゆ者。も〜〜をやうぢゆ〜さ。其時あら
ゆ者ゆ者て。おこてえ〜ま。あいのんぢんぢ。ぱこ。紙とう〳〵き
ぢとおりつて。娘ゲ言傳ぢて。ことあさ流とぢゆ者ゆ。
おうぢとゆ者てゲぢあ〜。ことゆ者ゆ。ゆいト。ゆきえうまバ。本ゆ者ゆ者ゆ者

あきあがり。せんこうけてあきらかちゃうん。かとときみあうしを
そろとひきよせ。ちゃうんにのこのこのこのこのこのこのこのこのこ
目のちとをわと。あのそこをきると。きさハちゝとそろけてまなぶく
おうのうあて。かまのそのきのきゝとうきて。かのちゃうんへのれ
きとゝあとのまて。そのちゃうんと。えちゃのあびとちゃうんちゃう
とと。そこへくると。えちゃうこうちゝ。ばび。あがきゝゝちゃ
それをあびのさきへつけて。ホニ重ものさんのひ
目とおもうあく
あさるとと。おうのもようあ。ばをあ。あが
あく。どこふる。サア其ハ居どこをおくのひ
かせく。エレハイ。あ是がやうどんあつさが。可毛
そかさんで。おらあんあ是注あ。うそかあがが

とがまるあんうヤアト。目をとまう。うがちうとまつくろふ
ちる。ばをう。ハゝゝ重ものさんまあ。あまこをかせく。是ハ
あこざ紙あがりてさ。ナニコレそうはき程か血
のかゝとゝあが。炭圓そどかくろあこざが出ハ
よくくのこんでおざるヤ。ナニくろハあこざがあるん
ろ。うねがそのつゝとえろ。がいかべゝそうざ
おらが新がどろ。ゝとかけ出てあくゝゝ。きとつがとと
コリヤあゝ。ハゝゝ。イヤとの男ハさろきろゝそこふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]